

資料

英国人植物採集家 James Bisset (1841-1911) により採集された
イワシャジン *Adenophora takedae* Makino の標本A Historical Note on the Specimens of *Adenophora takedae*
Collected by British Plant Collector James Bisset (1841-1911)田中徳久¹⁾・安田重雄²⁾Nori-hisa TANAKA¹⁾ & Shigeo YASUDA²⁾

Abstract. We recognized historical specimens of *Adenophora takedae* collected by British plant collector J. Bisset in the herbaria of the Royal Botanic Gardens, Kew in London (K) and the Muséum National d'Histoire Naturelle in Paris (P). Those specimens collected in 1876 are the oldest record of *A. takedae* in Japan and are important for the historical study of the flora in Kanagawa Prefecture.

Key words: historical specimen, flora of Kanagawa, oldest record

はじめに

江戸時代前中期には、エンゲルベルト・ケンペル Engelbert Kaempfer (1651-1716) とカール・ペータ・ツェンベリール Carl Peter Thunberg (1743-1828; 以下ツェンベリールと表記) が、後期から明治時代の初期にかけては、フィリップ・フランツ・バルタザール・フォン・シーボルト Philipp Franz Balthasar von Siebold (1796-1866) やカール・ヨハン・マキシモヴィッチ Carl Johann Maximowicz (1827-1891; 以下マキシモヴィッチ)、ポール・アメデー・ルドヴィック・サヴァチエ Paul Amedee Ludovic Savatier (1830-1891; 以下サヴァチエと表記) らの著名な外国人が日本国内で植物を採集し、多くの標本が残され

ている。しかし、彼ら以外にも、その協力者も含め、多くの外国人が日本産植物を採集している(大場, 1997 など)。これらの植物標本は、採集者各人の本国の植物標本庫にその多くが所蔵されているが、その重複標本の一部は、他国の植物標本庫に所蔵されている。本報では、イギリスのキュー植物園 The Royal Botanic Gardens, Kew (RBG Kew) の植物標本庫 (K: 以下 K と表記) とフランス国立自然史博物館 Muséum National d'Histoire Naturelle (MNHN) の植物標本庫 (P: 以下 P と表記) で見出された 1876 年にイギリス人ジェームズ・ビセット James Bisset (1841-1911; 以下ビセットと表記) により採集されたイワシャジン *Adenophora takedae* Makino の標本について報告する。なお、ここで略記した P や K は、Index Herbariorum に登録された標本庫固有の機関略号である。ここで報告した標本は、神奈川県を基準産地として記載されたイワシャジン *Adenophora takedae* Makino のホロタイプの採集以前に採集された標本であり、おそらくもっとも古くに採集されたイワシャジンの標本である。これらの標本は、前述の著名な外国人が採集した

¹⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History,
499 Iryuda, Odawara, Kanagawa 250-0031, Japan
田中徳久: tanaka@nh.kanagawa-museum.jp

²⁾ 〒TW9 3AE 英国リッチモンド サリー
英国王立キュー植物園
Richmond, Surrey, TW9 3AE, UK
The Royal Botanic Gardens, Kew

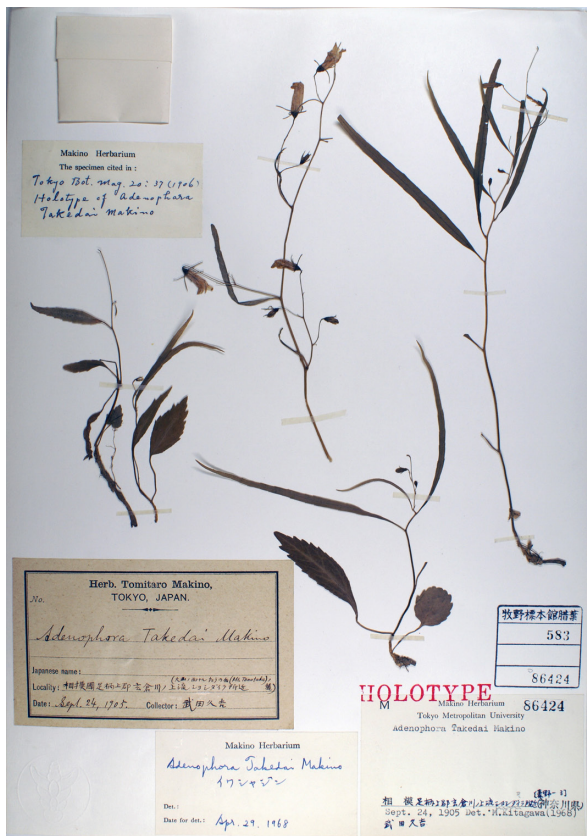


Fig. 1. Holotype of *Adenophora takedae* Makino (MAK86424).

標本以外にも、神奈川県植物研究史上、記録すべき標本が残されている一例として重要である。

標本調査と画像のデータベース化

フランス国立自然史博物館の植物標本庫（以下 P と表記）の調査は 2014 年 5 月 27 日～6 月 6 日に田中が実施し、イギリスのキュー植物園の植物標本庫（以下 K と表記）の調査は 2016 年 10 月 10 日に安田が実施した。なお、ここで略記した P や K は、Index Herbariorum に登録された標本庫固有の機関略号である。

見出された標本から画像を収集し、ラベルに記載されている内容を判読し、標本の属性情報（学名、採集地、採集年月日、採集者名、採集者の標本番号、標本庫の標本番号など）をデジタルデータ化した。この標本の属性は、収集した画像とともに、神奈川県立生命の星・地球博物館の収蔵資料管理システムの維管束植物画像（KPM-NX）に登録した。

イワシャジンの原記載

A. takedae Makino（イワシャジン；原記載では種小名は“Takedai”と記載）は、Makino（1906）により 1906 年に新種記載された植物で、武田久吉が 1905 年 9 月 24 日に“相模國足柄上郡玄倉川ノ上流シヨシダイラ附近”（原記載では“Sagami: near Shoshidaira in Ashigaramami-

gori”と記述）で採集した標本（MAK86424）がホロタイプ（Fig. 1）とされている。

見出された標本と採集者ビセット

ここで報告した標本は、上記のホロタイプの採集年より約 30 年前の 1876 年 10 月 10 日、Oyama で採集されたもので、おそらくもっとも古くに採集されたイワシャジンの標本である。その採集地は現在の神奈川県大山であり、その基準産地が神奈川県であることも合わせ、神奈川県に所縁の深い植物の標本でもあり、神奈川県植物研究史を考える上で重要なものである。

その採集者であるビセットについての情報は少ないが、*Rhododendron quinquefolium* Bisset et S. Moore（シロヤシオ）や *Pedicularis gloriosa* Bisset et S. Moore（ハンカイシオガマ）の命名者であり、*Viola bissetii* Maxim.（ナガバノスミレサイシン）に献名されている。大井（1965）が、開港後に日本で植物採集した人物として紹介しているほか、小原（1988）によると、ビセットはリネー学会員であり、1865 年頃に来日、横浜でビセット商会を運営していた。小原（1988）が言及しているが、Moore（1877, 1878）は、ビセットが日本で採集した標本を含んだ植物について報告しており、特に Moore（1877）には、「Mr. Bisset's Japanese Collection」の一項がある。さらに、Hooker（1878）は、K にビセットが日本で採集した 403 種の標本が受け入れられていることを報告している。著名な外国人が神奈川県で採集した標本としては、ツェンベリーの採集標本（勝山ほか, 2013）やサヴァアチエの採集標本（田中ほか, 2015, 2016）が知られる。ビセットは、これらの人物に比べると、前述のようにその情報は少なく、それほど著名であるとは言えない。しかし、Moore（1877）によると、Yokohama（横浜）や Chogo（長後）、Oyama（大山）、Neigishi（根岸）、Senkokubara（仙石原）、Bukenji（豊顕寺）、Hakone（箱根）、Kintoki（金時）、Manadzuru（真鶴）など、神奈川県内の各地で採集している（和文地名は筆者が補記）。また、牧野標本館（2004）によると、牧野標本館に所蔵されているシーボルトコレクションにマキシモヴィッチの手でラベルにビセットの名が記された標本が 37 点あり、その中には、1877 年 4 月 20 日に Oyama で採集された植物が含まれている。

以下に、今回 K と P で見出された 2 点の標本について報告、解説する。

K で見出された標本

今回、K で見出されたイワシャジンの標

本 (K001208188 <http://specimens.kew.org/herbarium/K001208188>; Fig. 2) には3枚のラベルが貼付され、標本の植物体付近には、採集番号を示すと思われる“No 727”と記されたタグが付されている。また、台紙には、Hance (1881) により、*Campanula rotundifolia* L. として報告された (あるいは同定された) ことが記されている (Fig. 3C)。*C. rotundifolia* L. は、イトシャジンの和名があり、ヨーロッパ・シベリア・北アメリカ北部の温帯に広く分布し、茎葉は無柄で線状披針形で (佐野・塚本, 1988)、茎葉の形態はイワシャジンに類似しているようである。

貼付されている3枚のラベルは、1番上に、Franchet (アドリアン・ルネ・フランシェ Adrien René Franchet; 以下フランシェと表記) の *A. verticillata* Fisch. の変種 (変種名は記載はなし) とする同定結果が記されたラベル (Fig. 3A; 以下フランシェの同定票と表記) が貼付されている。しかし、本報の標本の採集年から掲載可能であったかは微妙であるが、Franchet & Savatier (1873-1875, 1877-1879) には、*Campanula rotundifolia* L. や *A. verticillata* Fisch. の関連する変種の記述はない。サヴァチェが採集し、自らの私設標本庫に所蔵していた標本は、後に K に収蔵されているが (竹中, 2013 ほか)、ここで示したビスセットの標本は、母国にある K に直接収蔵されたものでなく、一度、サヴァチェあるいはフランシェの手を経て K に収蔵された可能性があるかもしれない。2番目には、採集者あるいは標本作製の早い段階で記されたラベル (Fig. 3B; 以下、オリジナルラベルと表記) が貼付されているが、採集地や採集年月日以外の左側の文字は判読・和訳し切れなかった。その下には、前述の Hance に関する記述を挟み (Fig. 3C)、最下に H. Takeda (武田久吉) による *A. takedae* Makino との同定結果が記されたラベル (Fig. 3D; 以下武田の同定票と表記) が貼付されている。

Makino (1906) は、J. Bisset により Oyama で採集された標本による *C. rotundifolia* L. としての報告 (Hance, 1881) を引用し、その標本採集地は遠くないことを記している。これは、前述の台紙に記されたメモ (Fig. 3C) に記されているものである。また、イワシャジンのホロタイプの採集者である武田久吉は、Bisset が大山大で採集した標本が Spencer Moore により、*C. rotundifolia* として報告されていることを記し、その標本をキュー植物園で確認した結果、イワシャジンであったことを報告している (武田, 1913)。Spencer Moore による報告については、詳細な引用がなく、Moore (1877, 1878) には関

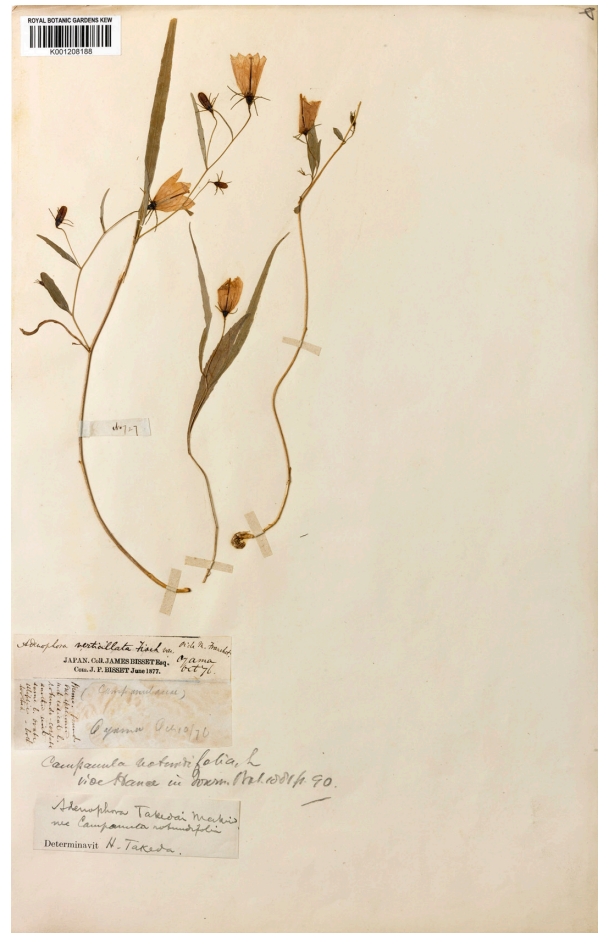


Fig. 2. *Adenophora takedae* Makino (K001208188; KPM-NX0001151).

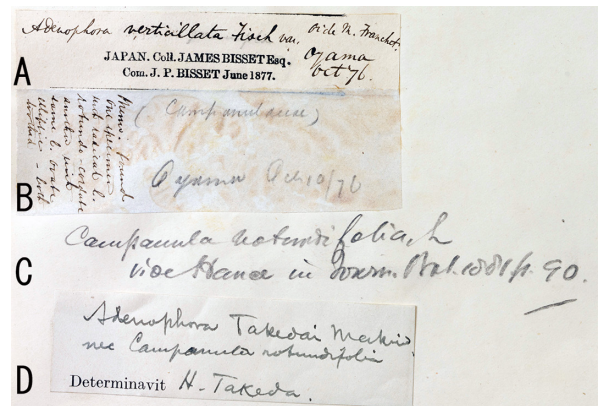


Fig. 3. Label and description (K001208188). A: Annotation label written by A. R. Franchet; B: Original label prepared by J. Bisset; C: Description of report as *Campanula rotundifolia* L.; D: Annotation label written by H. Takeda.

連する記述がないため、Hance (1881) による報告の誤認の可能性もある。武田ラベルは、その際に付したもので、検した標本は、今回、Kで見出された標本であり、明治時代 (あるいは大正時代初期) に、日本の研究者が海外の標本庫で活動したことを示すものである。なお、武田久吉は、日本山岳会の創立者として知られ、日本最古

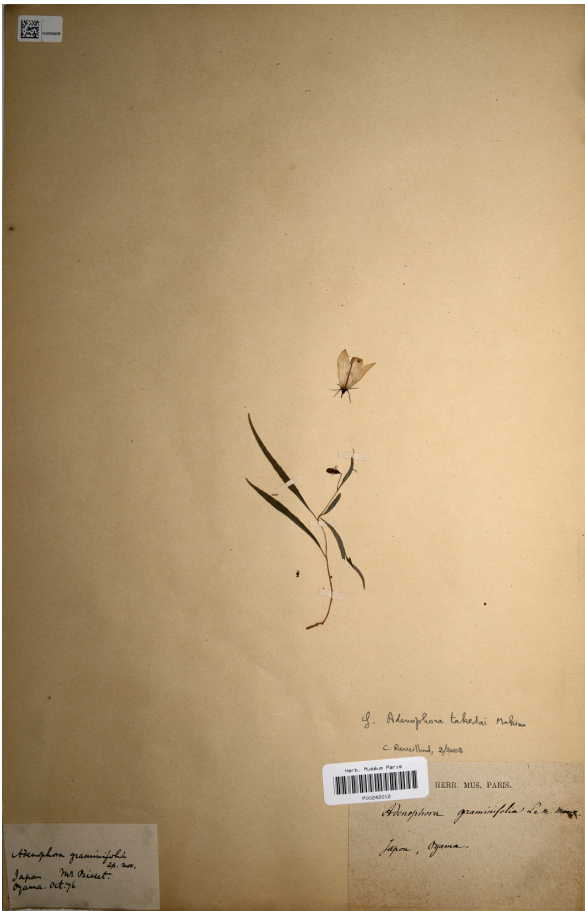


Fig. 4. *Adenophora takedae* Makino (P00242012; KPM-NX0001032).

の植物愛好会である横浜植物会の会員でもあり、1910年よりイギリスに留学していた。

Pで見出された標本

今回、Pで見出されたイワシャジンの標本 (P00242012 <http://colddb.mnhn.fr/catalognumber/mnhn/p/p00242012>; Fig. 4) には、2枚のラベルが貼付されており、台紙には、2002年2月のC. Reveillardによる*A. takedae* Makino (イワシャジン) の同定結果が記されている (Fig. 5A)。貼付されているラベルは、左下に、採集者あるいは標本作製の早い段階で記されたラベル (Fig. 6; 以下、オリジナルラベルと表記) が貼付され、右下に、Pのラベル (Fig. 5-B) が貼付されている。これらのラベルから、この標本は、1876年10月、OyamaでMr. Bissetにより採集されたもので、採集者の標本番号などは記されていないが、Kで見出された標本の副標本だと考えられる。

なお、この標本のPのラベルにも、オリジナルラベルにも、*Adenophora graminifolia*の属名と種小名が記されている。Pのラベルには、滲んでいる部分もあり不明瞭であるが、“Le M. Moore”と読み取れるような命名者が記されている。“Le

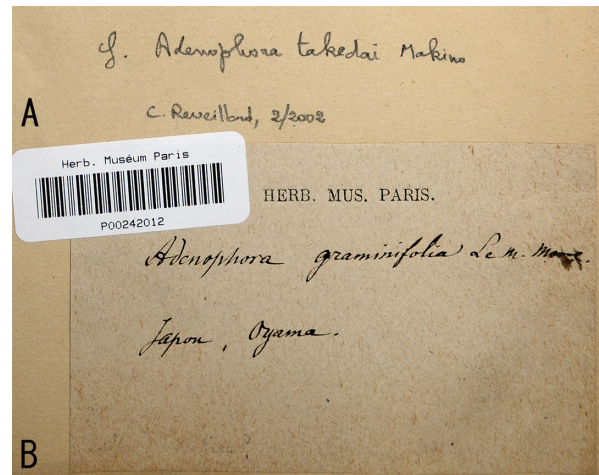


Fig. 5. Label and description (P00242012). A: Description of determination as *Adenophora takedae* Makino by C. Reveillard; B: The label prepared by P.

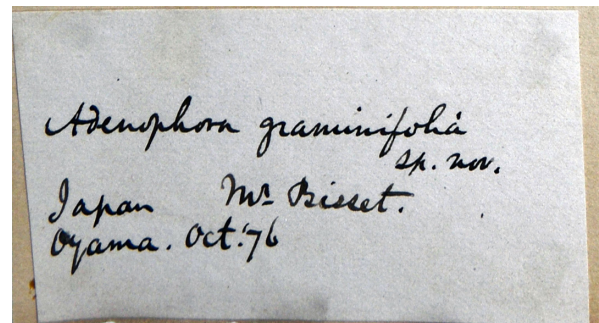


Fig. 6. Original label prepared by J. Bisset (P00242012).

M. Moore”は、前述のビセットが日本で採集した植物を含む報告 (Moore, 1877, 1878) を著した人物である。一方、オリジナルラベルには“sp. nov.”と記されているが、The Plant List (2013) などには、*Adenophora graminifolia*の学名はなく、これらの記述の経緯は不明であるが、正式には記載されていない学名だと考えられる。

おわりに

ここで報告したイワシャジンの標本は、Pの標本のラベルに記載されていた学名が未記載であったため、分類学的な貢献に資するものではないが、ホロタイプ以前のもっとも古くに採集された標本として貴重である。また、江戸時代後期から明治時代の初期にかけて、外国人により神奈川県で採集された標本として、神奈川県植物研究史においても重要な記録となる標本であり、フランシェとの関係や、明治時代に日本の研究者が、海外の標本庫で活動したことを示す標本としても、博物館学的にも興味深いものである。前述のようにビセットは本種以外にも多くの植物を神奈川県で採集しており、今後、さらに重要な記録となる標本が見出される可能性がある。

謝 辞

イギリスのキュー植物園標本庫の Aurélie Grall 氏をはじめとするキュレーターとデジタル映像化部門の方々、フランス国立自然史博物館の Marc Jeanson 博士に標本調査と標本画像の取得でお世話になった。また、神奈川県立生命の星・地球博物館の勝山輝男学芸員と本誌編集委員の皆様、貴重なご助言をいただいた。ここに記して深くお礼申し上げる。なお、本報は、JSPS 科研費 23501233、23501234 の助成を受けて行った標本調査の成果の一部を含んでいる。

引用文献

- Franchet A. & L. Savatier, 1873-1875. Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium, accedit determinatio herbarum in libris japonicis So-Mokou Zoussets xylographice deloneatarum. Vol. 1. 15+485pp. F. Savy, Paris.
- Franchet A. & L. Savatier, 1877-1879. Enumeratio plantarum in Japonia sponte crescentium : hucusque rite cognitarum, adjectis descriptionibus specierum pro regione novarum, quibus accedit determinatio herbarum : in libris japonicis So Mokou Zoussetz, Xylographice delineatarum. Vol. 2. 789+3pp. F. Savy, Paris.
- 勝山輝男・田中徳久・大西亘, 2013. ツェンペリーの日本植物誌に記録された箱根産植物. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (42): 35-62.
- Makino T., 1906. Observations on the Flora of Japan. *Botanical Magazine, Tokyo*, 20: 37-45.
- Moore S. H. M., 1877. *Alabastra diversa*, pars prima. *Journal of Botany, British and Foreign*, 15: 289-298.
- Moore S. H. M., 1878. *Alabastra diversa*, pars. secunda. *Journal of Botany, British and Foreign*, 16: 129-138.
- Hance F. H., 1881. *Campanula rotundifolia* L. Trimen's *Journal of Botany, British & Foreign*, 19:90. West, Newman & Co., London.
- Hooker J. D., 1878. Report of the Herbarium of the Royal Gardens, Kew, For 1877. *Journal of Botany, British and Foreign*, 16: 248-250.
- 牧野標本館, 2004. 牧野標本館所蔵シーボルトコレクション. Online. Available from internet: <http://ameba.i.hosei.ac.jp/sbweb/doc/index.html> (downloaded 2016-10-15).
- 小原 敬, 1988. 神奈川県植物研究史 (1). 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 1988. pp.1344-1370. 神奈川県立博物館, 横浜.
- 大場秀章, 1997. 江戸の植物学. 217+5pp. 東京大学出版会, 東京.
- 大井次三郎, 1965. 改訂新版 日本植物誌 顕花篇. 1560pp. 至文堂, 東京.
- The Plant List, 2013. The Plant List, Version 1.1. Online. Available from internet: <http://www.theplantlist.org/> (Published on 2013.1.1 by author).
- 佐野 泰・塚本洋太郎, 1988. カンパヌラ [属]. 相賀徹夫 (編著), 園芸植物大事典 1. pp.576-584. 小学校, 東京.
- 武田久吉, 1913. 塔ヶ岳, 丹澤山附近ノ植物ニ就イテ. 植物学雑誌, 27: 468-469.
- 竹中祐典, 2013. 花の沫—植物学者サヴァチエの生涯. 262pp. 八坂書房, 東京. 田中徳久・勝山輝男・大西 亘, 2015. フランシエとサヴァチエが記載した神奈川県産シダ植物と単子葉植物の基準標本. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (44): 23-48.
- 田中徳久・勝山輝男・大西 亘, 2016. フランシエとサヴァチエが記載した神奈川県産双子葉植物の基準標本. 神奈川県立生命の星・地球博物館研究報告 (自然科学), (45): 41-68.

摘 要

田中徳久・安田重雄, 2017. 英国人植物採集家 James Bisset (1841-1911) により採集されたイワシャジン *Adenophora takedae* Makino の標本. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (46): 57-61. [Tanaka, N., & S. Yasuda, 2017. A Historical Note on the Specimens of *Adenophora takedae* Collected by British Plant Collector James Bisset (1841-1911). *Bull. Kanagawa Prefect. Mus. (Nat. Sci)*, (46): 57-61.]

イギリスのキュー植物園の植物標本庫 (K) とフランスの国立自然史博物館の植物標本庫 (P) で見出された英国人採集家のビセットにより採集されたイワシャジンの標本について報告した。この標本は、1876年に採集された標本で、おそらくもっとも古くに採集されたイワシャジンの標本である。神奈川県では、著名な外国人により多くの植物が採集されているが、本報で示した標本は、神奈川県立植物誌研究史上、重要な標本であることを示した。

(受付 2016 年 10 月 31 日; 受理 2016 年 12 月 25 日)